

イージス・アシヨア及びイージス・システム搭載艦に関する質問主意書

提出者 原 口 一 博

イージス・アショア及びイージス・システム搭載艦に関する質問主意書

私が提出した質問に対する答弁書（内閣衆質二一六第二二号）を踏まえ、次のとおり質問する。

一 政府は、イージス・アショア整備のために米国に支出した主な経費は、総額約百二十四億円と答弁しているが、当初想定していたイージス・アショアの整備に係る全経費の金額を可能な限り明らかにされた
い。

二 政府は、「イージス・アショアのために取得した構成品は、SPY-7及びイージス・システムであり、これらは、いずれもイージス・システム搭載艦の整備に用いる計画である」と答弁している。

1 当該構成品は取得し、既に我が国に納品されているのか。

2 当該構成品は、本来陸上で運用するイージス・アショアのために取得したものであるのに、なぜ洋上で運用するイージス・システム搭載艦の整備に用いる必要があるのか、理由を示されたい。

三 政府は、「イージス・システム搭載艦については、既存のイージス艦と速力等が大きく異なるものではなく、「機動性に欠ける」との御指摘は当たらない」と答弁しているが、機動力を測ることが可能である
ということとは、具体的な搭載艦の性能が決定しているということか。決定している場合、当該搭載艦の規

模及びその速度並びにイージス・システムの搭載が可能と判断する理由をそれぞれ示されたい。
右質問する。